

住吉第一中、つちゅう



3月号
H30

3. 23

発行者
中西利彦

修了式を迎えて

1学期の始業式で、「兎さん」「兎事一流」という話をしました。「兎事」とは、当たり前の「こと」。「一流」とは、一生懸命頑張る「こと」。当たり前のことを手を抜かず、一生懸命頑張ること。凡事一流をめざすと話をしました。学年末を迎えるこの一年間で、良い習慣が身についたか、手を抜かずに頑張れたかを自問自答してみてください。また、仲間で力を合わせて、当たり前のことを当たり前にできたかどうか。この一年、たがいに仲間と協力をしながら素晴らしい集団をつくれましたか。中学生は、人生の基礎基本の時期。生活面でも学習面でも基礎基本を学ぶ時期です。「規則正しい生活習慣をつける」「学力をつける」「学校は集団生活の場だから」「コミュニケーションのとれる人」ということを覚えておきましょう。仲間の影響を受けやすい時期ですので、仲間たちとともに、今後も規則正しい生活を送り、挨拶ができるとのつなかりを大切にする姿勢を養ってください。そのためにも、春休み中に、新たな学年に向け準備をしてください。



卒業生を送る会

会場の都

第71回卒業証書授与式

3月14日(水)、第71回卒業証書授与式が行われ、130名の卒業生が巣立つていきました。在校生代表としての2年生や多くの保護者、来賓が見守る中、一人ひとり名前を呼ばれた卒業生が緊張のつむじも晴れやかな表情で立派に卒業証書を受け取りました。

卒業生は、何事も一生懸命に取り組み、見ていて人たがいに大きな感動を感じてくれました。がんばるひとで人に感動を与えてくれました。式でも「卒業生、在校生による合唱を力強い声で

歌い、聞く人たちの感動を誘い、歓声で温かい雰囲気で卒業式を終えられるひとができます。



式を行いました。

《同窓会入会式》

に賛同の生徒に表彰状が贈られ、その後卒業生を送る会が行われました。在校生代表から感謝のことばが述べられました。また、卒業生代表から良き伝統を受け継いでいくてほしいことばがありました。また、の日(金)には本校同窓会代表山本氏の代理としてPTA会長、役員の方々に来ていただき、同窓会の入会式を行いました。



《送る会》



編集後記

平成29年度の修了式を迎えることができました。保護者、地域のみなさまのご理解とご協力のおかげと心から感謝申しあげます。

来年度は、(卒業式の式辞抜粋)
「君たちは常に晴れ上がった空のように、高々とした心を持たねばならない。同時にすっしりとたくましい足取りで大地を踏みしめつつ歩かねばならない。」

(作家 司馬遼太郎のことばです。)

という言葉にあるように、高い理想を持ち、しっかりと計画をたて、理想に近づくように笑顔で前進してください。